

～ 受験生必見！面接試験に向けて ～

面接試験は「推薦試験で実施されている」というイメージもありますが、実は私立高校の一般入試でも実施する学校もあり、大部分の中3受験生は、一度は経験しないといけない形式の入試です。中学受験や大学受験でも面接試験が実施される学校も多くあります。

また来年1月実施の都立高校推薦入試では、新型コロナウイルス感染拡大予防のため集団討論は無しとなりましたが、個人面接の試験は実施されます。面接試験も点数化されて、合否判定に使用されます。今回は、入試直前期を迎えるにあたり、その面接のポイントを説明したいと思います。

【I】言葉づかい・表情・話し方

面接は尋問ではありません。コミュニケーション力や成績では測れない皆さんの内側を見るものですので、目上の人に対しての正しい言葉づかいと明るい表情がポイントになります。



話し方の注意点としては

- ①早口にならない（慌てない）こと。
- ②語尾をはっきりする（モゴモゴしない）こと。
- ③やたら『えーと…』を言わないこと。
- ④聞かれたことに正確に答えること。
- ⑤視線は試験官に向けること。



など様々ですが、一貫して“落ち着いて話すこと”がポイントになります。

『本番ではちゃんとする or できる』という人が結構いますが、慣れや癖というものは簡単には直せません。『自分のことだから大丈夫！』と高を括っていると本番で必ず失敗します。自分の長所・短所・将来の志望などをよく見つめ直した上で本番に臨んでください。

【Ⅱ】身だしなみ

やはり第一印象を決めるのは身だしなみです。袖のボタンやYシャツの第一ボタンはしまっているか、制服自体汚れていないか、セーターの袖で手が隠れていないか、髪型はきちんとしているか…など様々ですが、一貫して“清潔感”がポイントです。かばんにお守りや装飾品などをジャラジャラと付けすぎてるのも要注意です。



髪型もチェックを忘れずに。前髪が目にかかるほど長いと視線が隠れてしまい印象がよくありません。化粧や染髪などももちろんNGです。

また、筆記試験中や面接の待ち時間もかなり見られています。受験番号や座った位置などから誰なのかすぐに判明してしまいますので、受験会場に着く前から帰るまで一貫してきちんとしておくことも大切です。

【Ⅲ】よく問われる質問例

・志望動機

「本校を志望した理由を教えてください」「本校の説明会には参加しましたか？」

「本校をどのようにして知りましたか？」など。

・将来の進路や希望

「本校に入学したら何を頑張りたいですか？」「将来の夢はありますか？」

「本校を卒業後の進路や希望はありますか？」など。

・学校生活について

「学校生活の中で一番印象に残っているものは何ですか？」「部活動(クラブ活動など)で得たものは？」「部活動と勉強の両立はできましたか？」など。

・自己PR

「では最後に自己PRをどうぞ」「最後に言っておきたいことはありますか？」など。第一志望校の受験では必ず言えるようにしておきましょう。短すぎず長すぎず、1分くらいで簡潔に自分のことを伝えます。

